

磁気乗車券の発売終了について(続報)

北総鉄道(本社:千葉県鎌ヶ谷市、社長:持永 秀毅)では、環境に配慮した持続的な鉄道サービスの提供を目的として、磁気乗車券による普通乗車券(きっぷ)および定期乗車券の発売を終了します(本年3月13日既報)。

磁気乗車券につきましては、交通系 IC カードをご利用のお客さまの割合が高くなっていること、乗車券用紙から磁気層が不要となることでリサイクルが容易になり環境負荷が低減するなどの理由から発売を終了するものです。

これまでにお知らせした内容に加え、一部新たな決定事項を含めたその後の取扱いに関する詳細は以下の通りとなります。

1. 磁気乗車券の発売終了時期

2027年3月頃(予定) ※詳細な日程は決まり次第、改めてお知らせいたします

2. 発売を終了する磁気乗車券

①普通乗車券(きっぷ)

②定期乗車券(通勤定期乗車券及び通学定期乗車券)

※他事業者への連絡となる実習用通学定期券など、一部の定期乗車券は除きます

3. 磁気乗車券の発売終了後の取扱い

①普通乗車券(きっぷ)

QRコード^{※1}を使用した乗車券で発売いたします。

※別添(2024年5月29日付鉄道事業者8社による共同プレス)参照

なお、従来どおり、全国相互利用が可能な交通系 IC カードでのご乗車も可能です。

②定期乗車券(通勤定期乗車券および通学定期乗車券)

IC 定期乗車券(PASMO・モバイルPASMO^{※2})で発売いたします。

2027年3月以降も有効の磁気定期乗車券をお持ちのお客さまは、磁気定期券発売終了後も有効期限までご利用いただけます。

なお、現在磁気乗車券のみで発売しております「学期定期乗車券」につきましては、発売を終了します。

③自動改札機のご利用について

現在、北総線各駅におきまして、順次自動改札機の更新を行っております。更新後の自動改札機では、磁気乗車券の使用はできません。2027年6月頃には全駅の自動改札機の更新が完了する見込みであり、これをもって北総線の全ての自動改札機において磁気乗車券での通行はできなくなります。お客さまには大変お手数をおかけしますが、磁気乗車券をご利用になる際は、有人窓口の駅係員にご呈示ください。

※1 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

※2 「PASMO」・「モバイルPASMO」は、株式会社パスモの登録商標です

【参考】PASMOのご案内

PASMOは、鉄道やバスのきっぷとしてご利用いただけるほか、電子マネー加盟店では電子マネーとしてお買い物のお支払いにもご利用いただけます。定期入れなどから出さずに自動改札機の読み取り部にタッチするだけで、スムーズに改札が通過できます。

また、万が一紛失した場合には再発行が可能であるなど、安全にご利用いただける乗車券です。現在、ご利用中の磁気乗車券も定期券発売所にてPASMOカードに載せ替えすることが可能※です。

※他事業者で発行された定期乗車券は、発行された事業者にてお申し出ください

PASMOカードをお持ちでない場合、定期運賃のほかにデポジット(預かり金)として500円が別途必要となりますが、この500円はカードご返却時に返金いたします。

なお、スマートフォンでPASMO機能を利用できる「モバイルPASMO」では、デポジットは不要で、時間と場所の制限もなく、駅で並ばずにチャージや定期券の購入が可能です。

皆さまの日常にさらなる利便性と安心をお届けするPASMOを、ぜひこの機会にご利用ください。

以 上

別 添

2024年5月29日
京成電鉄株式会社
京浜急行電鉄株式会社
新京成電鉄株式会社
西武鉄道株式会社
東京モノレール株式会社
東武鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
北総鉄道株式会社

鉄道事業者8社による磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券への置き換えについて

- 京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、新京成電鉄株式会社、西武鉄道株式会社、東京モノレール株式会社、東武鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、北総鉄道株式会社（以下、「鉄道8社」）は、磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券（以下、QR乗車券）への置き換えを2026年度末以降、順次実施します。
- 鉄道の乗車券については、シームレスにご利用いただけるSuica・PASMOの交通系ICカードや、各社のチケットレスサービスを主体とし、引き続きサービス向上と利用拡大を継続していきます。一方で、磁気乗車券をQR乗車券へ置き換えることで、鉄道サービスの持続的な提供を実現していきます。

1. QR乗車券への置き換えの目的

（1）持続可能なシステムへの移行

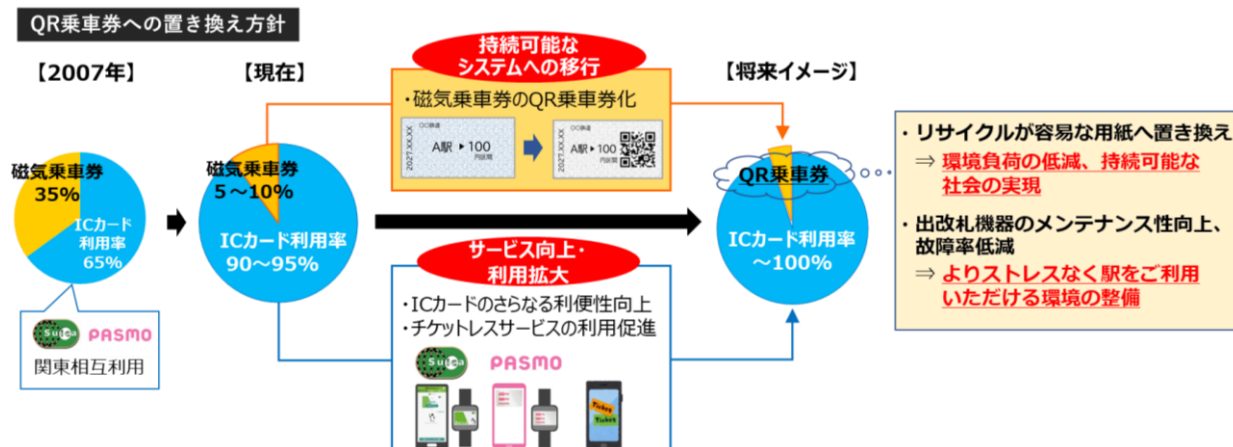
駅の自動改札機、自動券売機をはじめとした機器（以下、出改札機器）は、磁気乗車券用の機構の複雑さ・鉄道固有の専門性の高さから、中長期的に維持していくためには持続可能なシステムに移行する必要があると考えています。将来にわたり出改札機器による鉄道サービスを提供していくため、磁気乗車券からQR乗車券へのシステム移行を順次実施します。

（2）より環境にやさしい用紙への置き換え

磁気乗車券の用紙は金属を含んでいるため、リサイクルにあたり磁気層の分離・廃棄が必要であり、一定の環境負荷がかかっています。今回、よりリサイクルが容易で、環境負荷を低減できる用紙に変更可能なQR乗車券への置き換えを実施することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

（3）お客さまサービスの向上

現在の磁気乗車券は出改札機器へ投入する仕組みのため、機器の不具合による券詰まりなど、お客さまにご迷惑をおかけする状況が発生しています。非接触による処理が可能なQR乗車券の導入により、出改札機器のメンテナンス性の向上や故障率の低減を図り、お客さまがよりストレスなく駅をご利用いただける環境の整備を進めていきます。



2. QR 乗車券の概要

(1) 対象

鉄道 8 社各社が自動券売機から発券する普通乗車券（近距離券）について、QR 乗車券へ置き換えます。

※その他詳細については、決まり次第各社よりお知らせします。

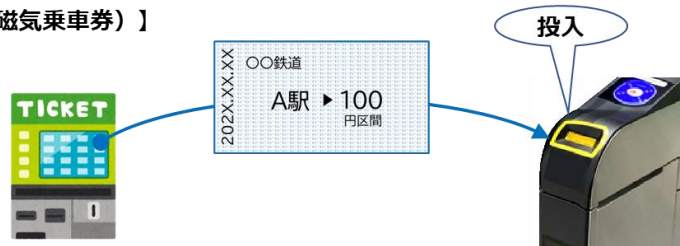
(2) ご利用方法

磁気乗車券を出改札機器へ投入する方式から、QR 乗車券の QR コードを出改札機器の QR リーダーにタッチする方式へ変更します。

※対象となる出改札機器やご利用方法の詳細については、決まり次第各社よりお知らせします。

ご利用イメージ

【現在（磁気乗車券）】



【将来（QR乗車券）】

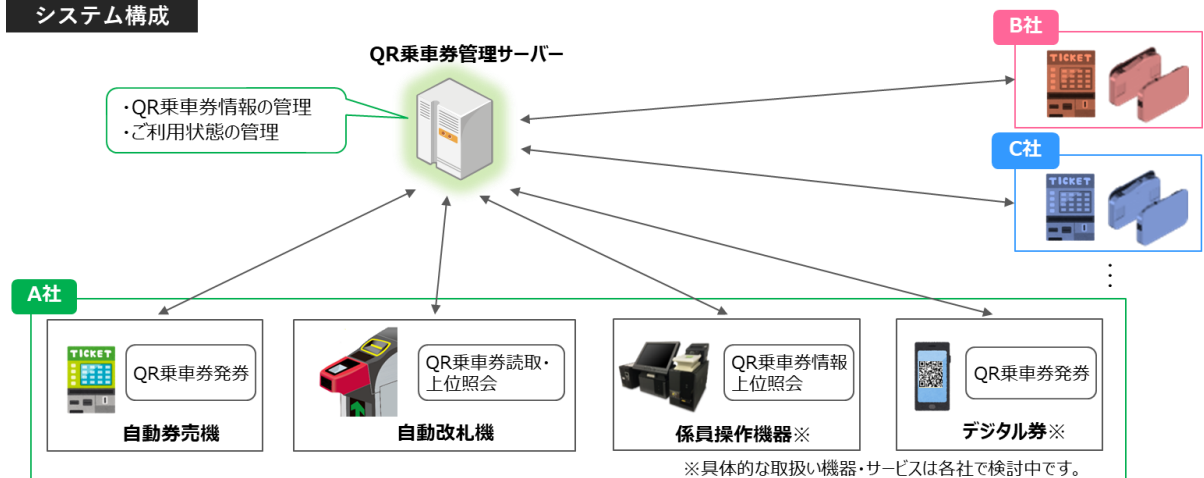


※開発中のため、画像はイメージです

(3) システム

- ・ QR 乗車券の情報や、入場・出場などのご利用状態を鉄道 8 社共用の QR 乗車券管理サーバーで管理します。
- ・ 鉄道 8 社が同一のシステムを使用することで、会社間にまたがる QR 乗車券の発券が可能となります。

システム構成



3. サービス開始時期

2026 年度末以降、順次実施予定

※具体的な開始時期については、決まり次第各社よりお知らせします。

4. 今後について

- (1) 鉄道 8 社における QR 乗車券の取扱いなど、詳細については今後ご案内を行う予定です。
- (2) 鉄道 8 社では、連絡運輸で関係する他の鉄道事業者と、お客さまサービス面での調整を進めています。お客さまの利便性に配慮しつつ、検討を進めていきます。
- (3) 鉄道 8 社以外の鉄道事業者とも、磁気乗車券の縮小と、持続可能なシステムへの移行を共同で検討しています。今後も鉄道サービスの持続的な提供に向け、鉄道事業者間でのさらなる連携を図っていきます。

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※ 「Suica」・「モバイル Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「PASMO」・「モバイル PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。